

AT だより 12月号

(アシスティブテクノロジー)

2 学期の「AT だより」です。2 学期の内容は、BYOD と中学部の機器活用事例を紹介します。

1 BYOD について

BYOD(Bring Your Own Device)とは、私物のタブレット端末や ICT 機器を学校に持ち込んで学習に利用することです。高等部の就学奨励費で購入したタブレット端末もこれに含まれます。中学部でも、個人で購入していたタブレット端末を学校に持ち込んで活用している生徒が 4 名います。校内の Wi-Fi も申請すると利用することができます。

GIGA のタブレット端末は、現在、どのアプリでも活用できるわけではありません。特に有料アプリはほとんど使用できません。BYOD の端末は、本人のニーズが必要であれば、保護者が、有料アプリを購入して学校で利用させることができます。それぞれ障がいや家庭の状況は様々です。関心がある方は、学習部情報係にご相談ください。

2 中学部での機器活用事例

(1) 描画アプリ「色紙」を使って年賀状を作ってみました。



無料アプリ「色紙」

もうすぐお正月ということで、「色紙」というアプリを使って、2・3年2組のKさんは、作品を作り、年賀状を作ってみました。まず、教師と一緒に落款作りです。落款ができると、いよいよ作品作りです。最初は、教師と一緒に正月らしい絵や文字を書いてみます。しばらくすると、いつのまにか一人で描いていました(たまたまかもしれませんが)。でもできた作品はこんな感じです(右の写真)。



(2) プレゼンテーションアプリ「Keynote」を使って



無料アプリ「Keynote」

朝の会の進行に「Keynote」というアプリを使っています。元々は、PCのPowerPointというプレゼンテーションソフトで作っていましたが、互換性があるため「Keynote」でも同じように操作できます。ポイントは、どのスライドにも異なる音楽を入れていることです。こうすることで、視覚に障害がある生徒がいても、その音楽が聞こえると、次はどんな活動が始まるかわかる

しかけです。「Keynote」の映像を大型のテレビに映し、学級みんなで、交代でタブレット端末をタップして進行させていきます。



(3) Voca アプリ「ドロップトーク」を使って



有料アプリ「DropTalk」

2年3組のSHさんは、「DropTalk」というVocaアプリを使っています。先生の質問を元にして、あったことなどをアプリに入力しておうちの方に音声で伝えます。また、作業学習の振り返りの時間に反省を入力して、発表する時も使っているそうです。ずいぶん早く入力できるようになり、発表もスムーズになってきているようです。



※ Voca…Voice Output Communication Aids を略したもので、音声で自分の意思を伝えるための道具やアプリのこと。

(4) 修学旅行で思い出やおこづかいを整理しよう。



無料アプリ「Pages」

旅行中は、見学地でいろいろカメラ機能を使っていろいろな物を撮影しました。事前に学習したワープロアプリ「Pages」を使って、その日のうちにホテルで思い出をまとめます。感想がイメージしやすいように、まずその日の思い出の一枚を選びます。その写真を見ながら感想を入力していきます。



また、iPad の表計算アプリ「Numbers」



無料アプリ「Numbers」

で修学旅行のおこづかい帳の学習をしました。初めてでしたが、アプリが計算してくれるので、使い方がわかると生徒たちもどんどん入力していました。旅行中のホテルや旅行後にお買い物したレシートを元に、計算した値と実際のお財布の中の金額が合っているか確認できました。

修学旅行のおこづかい帳

	12月7日		12月8日		12月9日	
	買った物	金額	買った物	金額	買った物	金額
1			うさぎ	275	海老ゆづり×2	1296
2			イルカ	660	ふかふか	500
3			健貨びこびこ	220	手づくりおび天	240
4			健貨○さんへ	385		
5			健貨 ○○さん	275		
6			みかんジュース	150		
7						
合計	0	0		1955		2036
現金	5000	5000		3035		999

3 ICT 支援員の紹介

今年度10月から ICT 支援員が来られました。名前は、黒水菜生さんです。よろしくお願ひします。

「みなさんの iPad の消毒をしたり、パソコン室の整理をしたりしています。校内で会ったら声をかけてもらとうれしいです。」

